

## みずほCustomer Desk Report 2018/01/24号(As of 2018/01/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.98 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.98	1.2257	136.02	1.3986	0.8008
SYD-NY High	111.18	1.2306	136.21	1.4030	0.8030
SYD-NY Low	110.25	1.2223	135.21	1.3916	0.7957
NY 5:00 PM	110.30	1.2299	135.62	1.3999	0.8000
NY DOW	26,210.81	▲ 3.79	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,460.29	52.26	日本10年債	0.0700	▲ 1.00bp
S&P	2,839.13	6.16	米国2年債	2.0383	▲ 2.88bp
日経平均	24,124.15	307.82	米国5年債	2.4146	▲ 3.73bp
TOPIX	1,911.07	19.15	米国10年債	2.6159	▲ 3.89bp
シカゴ日経先物	24,025	55.00	独10年債	0.5590	▲ 0.70bp
ロンドンFT	7,731.83	16.39	英10年債	1.3520	▲ 0.65bp
DAX	13,559.60	95.91	豪10年債	2.8335	▲ 0.45bp
ハンセン指数	32,930.70	537.29	USDJPY 1M Vol	7.23	0.17%
上海総合	3,546.50	45.14	USDJPY 3M Vol	7.60	0.02%
NY金	1,336.70	4.80	USDJPY 6M Vol	7.95	0.05%
WTI	64.47	0.90	USDJPY 1M 25RR	-0.81	Yen Call Over
CRB指数	196.94	0.72	EURJPY 3M Vol	8.09	▲ 0.06%
ドルインデックス	90.09	▲ 0.31	EURJPY 6M Vol	8.30	0.00%

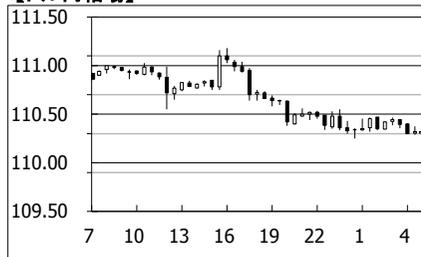
### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月23日	-	日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	-	-0.1%
-	-	10年国債金利の操作目標	-	0.0%
-	-	日銀展望レポート「中期的な予想物価上昇率は、(中略)最近は横ばい圏内で推移している。」		
15:30	日	黒田日銀総裁 定例会見「国債買入、ストック効果ありフロー少なくとも適切なイールドカーブが実現」		
19:00	独	ZEW景況感指数(現状/期待)	1月 95.2/20.4	89.6/17.7
1月24日	00:00	リッチモンド連銀製造業指数	1月 14	19
00:00	欧	消費者信頼感指数	1月 1.3	0.6

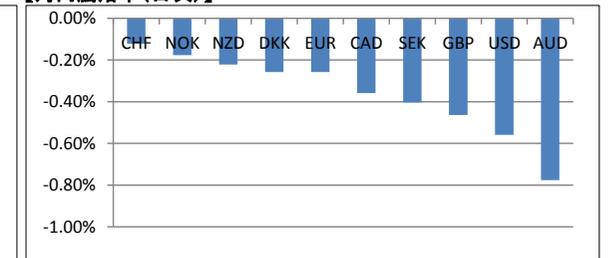
### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月24日	-	世界経済フォーラム(1/26まで)	-	-
08:50	日	貿易収支	12月 ¥535.0b	¥112.2b
18:00	欧	マークイット製造業PMI・速報値	1月 60.3	60.6
18:30	英	ILO失業率	11月 4.3%	4.3%
23:45	米	マークイット製造業PMI・速報値	1月 55.0	55.1
1月25日	00:00	中古住宅販売	12月 5.70m	5.81m

### 【ドル円相場】



### 【対円騰落率(日次)】



### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.90-110.50	1.2250-1.2350	135.10-136.10

### 【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は軟調な推移となった。ユーロがユーロ圏1月消費者信頼感指数が市場予想を上回ったこと等にもサポートされ、1.23台へ載せるなど、主要通貨に対するドル売りが進行し、111円前半まで水準を回復していたドル円は110円台軟化した。本日のドル円は方向感無く推移しそうだ。米長期金利の低下に加え、ユーロ圏の景気改善でECBによる金融緩和の縮小観測から、ドルは買いにくい。一方で、節目の110円付近では値ごろ感からドル買いが入る可能性も否めず、ドル円の値を抑えるだろう。本日のドル円は110円台前半で膠着間を強めそうだ。

東京	東京時間のドル円は110.98レベルでオープン。日経平均株価が堅調に推移するのを眺めて上値を試すも、111円付近では戻り売り意欲も強く110円台後半を中心に揉み合う展開となった。正午すぎ日銀政策決定会合の結果が出ると、金融政策は現状維持ながら展望レポートにおいて中長期的な予想物価上昇率が上方修正されたこともあり、一時110.55まで下落。その後は110円台後半まで反発した後、黒田総裁会見を控え方向感なく推移し、110.78レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は110.78レベルでオープン。日銀総裁が金融政策決定会合後の記者会見で物価は「2%の目標におお距離がある」として、出口対応の局面に至っていないとの見方を強調したことから高値111.18まで上昇。しかし持続力は無く110.38まで売られ、110.52レベルでNYに渡った。ポンドは1.3989レベルでオープン。米与野党がつなぎ予算で合意し政府の一部閉鎖が解除されることからドル買い戻しが優勢となる中、米民放の英社買収計画について英当局が公共の利益にならないとの暫定判断を下したことで、ポンド買いブームの思惑が遠のくと、下値1.3916まで下落。1.3952レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は日銀会合後の黒田総裁の記者会見でのハ派な発言を受けて高値111.18まで上昇するが、物価予想が引き上げられたことや、ユーロ円のポジション調整が強まったとの話もあり、上値の重い推移が続き110.52レベルでNYオープン。大きなイベントを消化し動意に欠ける推移となる中、海外時間に伝わった「米国の太陽電池パネルと洗濯機に輸入課税を決定」との報道を受けて、貿易関係の緊張の高まりが嫌気されドル売りが強まり、ドル円は安値110.25まで下落。先週1月17日安値となる110.19が意識され、この水準では下げ渋った。午後はセッションズ司法長官がロア疑惑に関して先週数時間特別検査簡易質問されたとの報道もあり、ドル円は上値重く、110.30付近での狭いレンジでの推移が続き110.30レベルでクロスした。一方ロンドン時間に発表された独1月NEW調査現状指数が予想を上回ったがユーロの反応は限定的となり、1.2250レベルでNYオープン。貿易関係緊張感の高まりからドル売りが優勢となる中、ユーロは海外時間高値の1.2277を上抜け高値1.2306まで上昇。1.23台ではユーロ売り意欲も強く1.2271まで反落するが、その後も1.22台後半で底堅く推移し、1.2299レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・鶴田